

極東ロシア 7674 鈴 で進める 次世代型有機農業プラットフォーム

農林水産省 食料産業局 輸出促進課
食品産業グローバル展開事業

野畑ファーム
PrimagroExport
山村英司

研究代表者
筑波大学
石賀康博



次世代型有機農業プラットフォームの取り組み

科学・農業・事業の日露トライアングル構築



【科学】次世代型有機農業プラットフォームの取り組み

参画企業募集中



仮) 日露共同研究コンソーシアム

2020年/2月 共同研究にかかわる合意文書締結予定



研究体制



筑波大学
University of Tsukuba

研究代表者
筑波大学

石賀康博



共同研究機関
沿海地方農業センター
ガリーナ・デュディンコ



共同研究機関
沿海地方農業アカデミー
アンドレイ・コミン

協力:新潟大学、沿海地方農業研究所

実証体制



Primagro
Export



のばたファーム

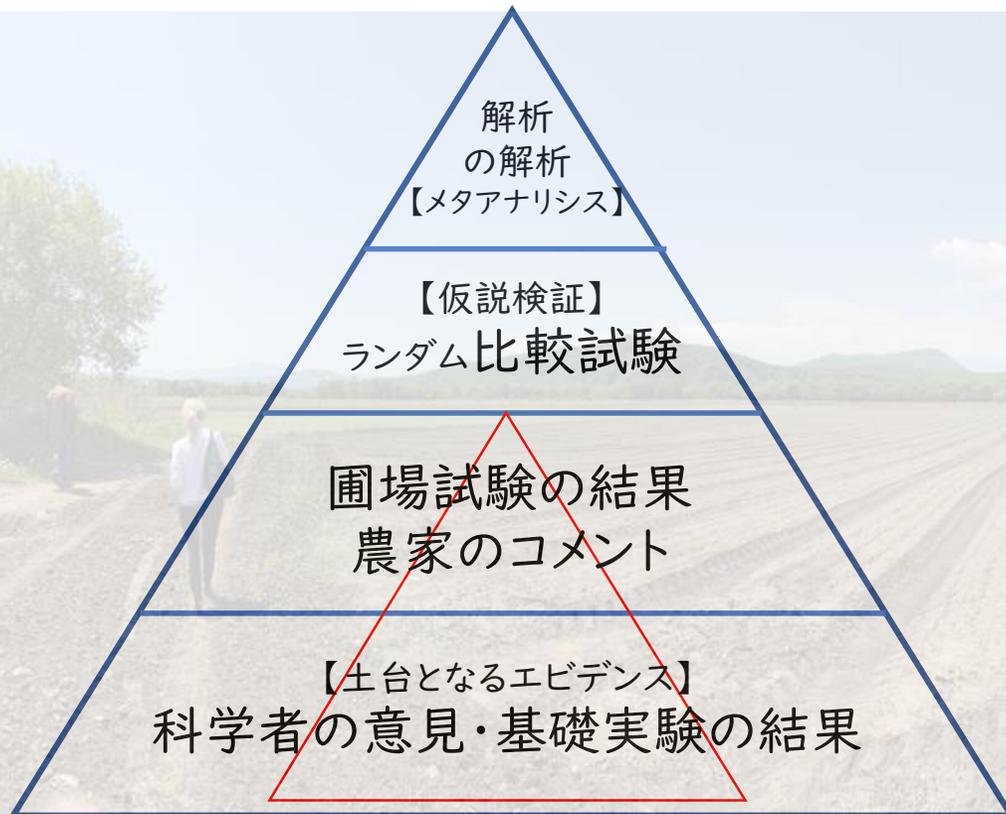




研究の目的

Evidence Based Agriculture

広大な農地を活かし、同一の天候条件のもと、条件の異なる複数の実証実験を同時に行い、結果を比較、多くのエビデンス（ビッグ・データ）を収集したうえで、農業現場に最適なソリューションを提供する。

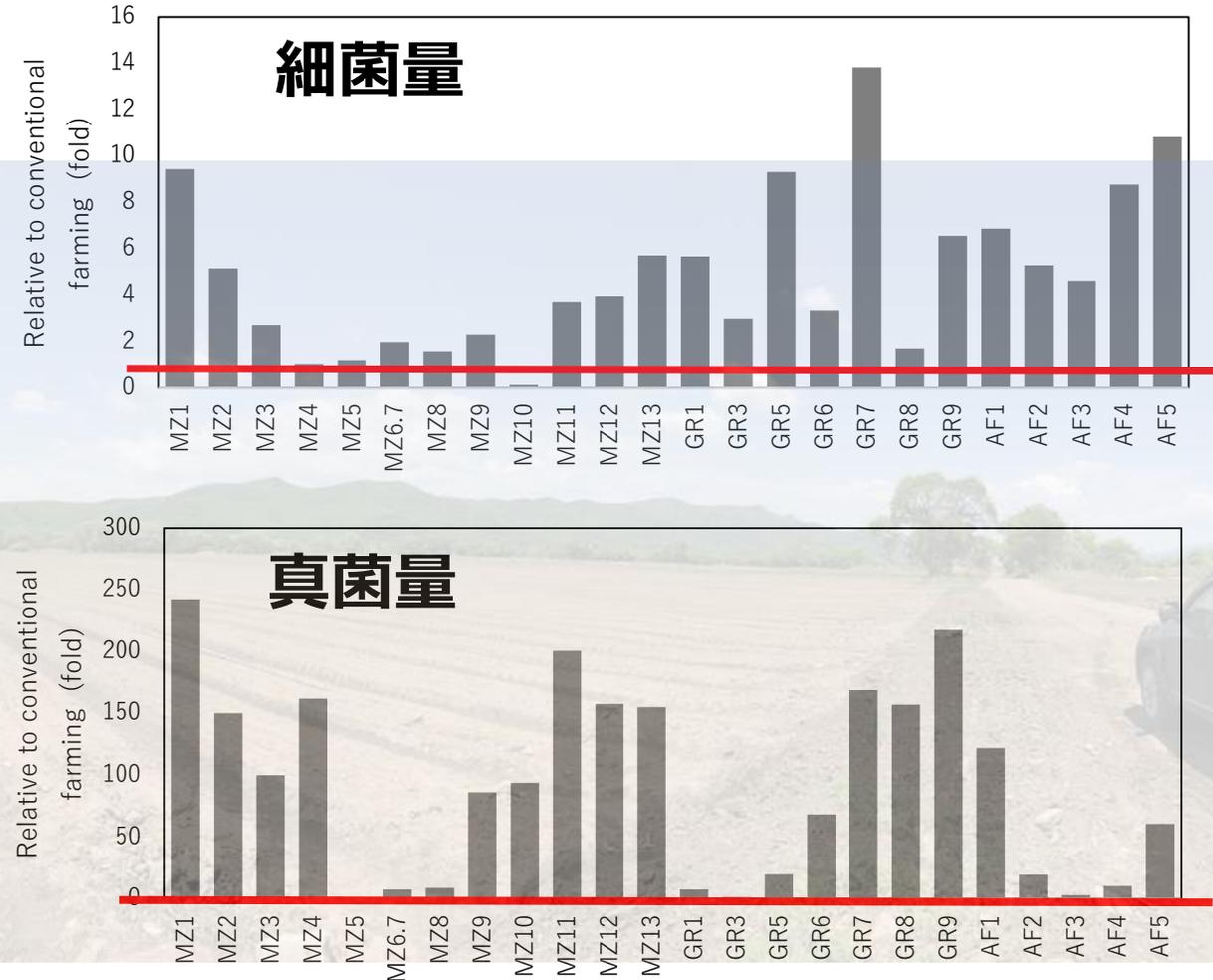


【事例】2019年10月

ロシア圃場における土壌細菌および真菌量

つくば地区慣行農業圃場の土壌における細菌DNA量・真菌DNA量（バイオマス量）を1（赤線）とした場合の相対値

⇒ 多くの微生物（細菌および真菌）が含まれる生物性の高い土壌



【農業】次世代型有機農業プラットフォームの取り組み

農業生産組合 PrimagroExport

2018年 にんじんの試験栽培・カット冷凍野菜の試験輸入

2019年 かぼちゃの試験栽培

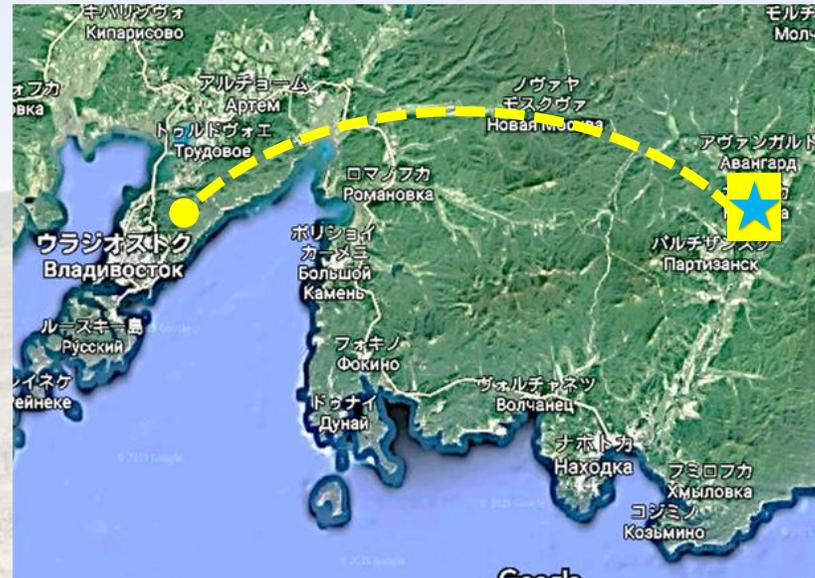
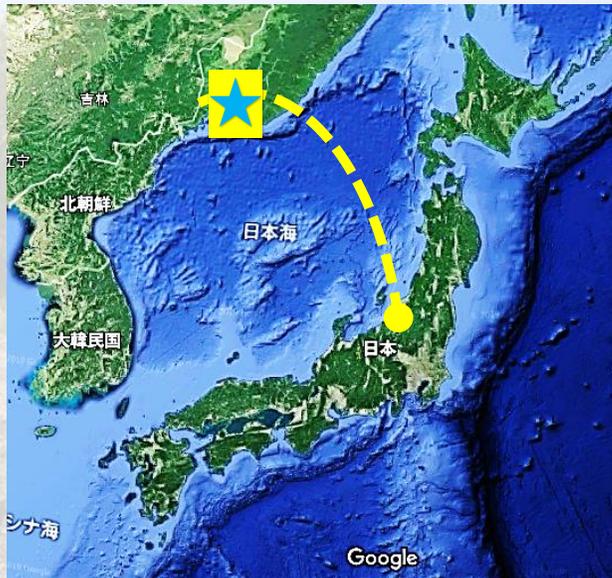
2020年 鹿児島県 山野野菜／茨城県 藤田農園の2農家が参画予定

2020年
試験栽培受付中



Organic
Made by Japanese
China Free

Location



Certificate



2020年/2月
団体認証取得予定 674ヘクタール

Farming Rotation

year 1

にんじん

Carrots морковь



year 2

ダイズ

Soybean соя



year 3

野菜

Vegetables овощи



year 4

緑肥

Cover Crops Обложка посевов



http://i-reboot.secret.jp/farm/

期間限定公開中



primagro export

List

選択してください

Information

データがありません。



List

AF-1

Information

分析番号	1910060	圃場名	AF1
栽培作物	とうもろこし	EC	0.08
pH	7.41	CEC	25.52292503
CaO	964.8047365	MgO	23.5274036
K2O	13.73925234	石灰飽和度	134.8127515
苦土飽和度	4.574762024	加里飽和度	1.142909251
塩基飽和度	140.5304228	P2O5	68.3218205
リン吸	1112.669218	NH4-N	0.306756106
NO3-N	0.233009709	腐植	6.613436123
SiO2	55.55033929	B	0.522405
Mn	0.538047656	Fe	10
Cu	0.288557214	Zn	2.362017804
圃場微生物データ			

圃場コード

【AF】 アグロファンド-P株式会社

【MZ】 アレクサンドル・モロゾフ氏

【GR】 アレクサンドル・グリシュコ氏

【NF】 野畑ファーム

【公開中】

全28圃場 土壌分析データ

Google Map

【準備中】

作付計画・進捗

使用資材

農地B/S

【事業】次世代型有機農業プラットフォームの取り組み

パートナー
企業募集中



Global & Local , Input Business

Phase 0
(~2020年3月)

日露共同研究コンソーシアムの立ち上げ

Phase 1 : start up
(2020-21年)

【C-3】環境負荷の低い持続可能な植物保護資材のプロトタイプ実証実験

【B-5-1】次世代型有機農業に適した農業機械のプロトタイプ実証実験

【B-5-2】次世代型有機農業管理用ソフトウェアのプロトタイプリリース

【C-5】微生物の可視化およびカテゴリー分類の実証実験

Phase 2 : Early Stage
(2021-23年)

【C-3】【B-5】【C-5】の製品化・サービスリリース、グローバル展開

【C-4】低コストで運用可能なポストハーベスト技術の実証実験およびグローバル展開

【B-1】【B-2】【B-3】【C-1】【B-2】【D-1】バイオステミュラント系資材の実証実験

共同研究コンソーシアムからJVへの移行

Phase 3 : Middle Stage
(2023~25年)

【B-1】【B-2】【B-3】【C-1】【B-2】【D-1】バイオステミュラント系資材のグローバル展開

〈参考〉
野畑ファーム海外事業

- ・ベトナム
- ・中国
- ・バングラデシュ
- ・リベリア(予定)
- ・インドネシア(予定)
- ・アンゴラ(予定)

※Organic技術は作物・ロケーションを問わずグローバルに展開可能

【事業】次世代型有機農業プラットフォームの取り組み

パートナー
企業募集中



Local ,Output and Other Business

Phase 0
(~2020年3月)

農場のオーガニック認証取得 (674畝)

沿海地方のオーガニック含む総合的な認証制度の立案・提案

Phase1 : start up
(2020-21年)

ウラジオストク市による「オーガニック都市宣言」

認証法人の立ち上げ、参画、ロシア他地域への展開

有機農産物・加工野菜の輸出開始。同時に、冬季のウラジオストク観光客向けに日本の有機JAS野菜を輸出

Phase2 : Early Stage
(2021-22年)

沿海地方のオーガニック認証制度と有機JAS規格の同等性交渉

食用大豆・小豆の本格的商用輸出

Phase3 : Middle Stage
(2022~23年)

ロシア沿海地方が世界最大の「オーガニック産地」となる

冬季のロシア農業者の日本向け人材紹介・派遣事業